

「産業の塩」ネジを基軸に挑む 物流商社の次世代経営

逆境の時代に急成長を遂げたネジ専門商社、サンコーインダストリー。その背景には徹底した在庫拡大路線と物流IT戦略があった。「小さくても不可欠な存在」として日本の産業界の一隅を照らす、奥山社長率いる業界リーディングカンパニーの使命を聞いた。

モノづくりを陰で支える 「社会に欠かせない存在」

「産業の塩」とも呼ばれ、建築、機械、精密機器などあらゆる製造現場で必要不可欠なネジ（鉄釘）。その歴史は古く、国産初のネジが誕生したのは1544年、種子島に鉄砲が伝来した翌年のことだという。鉄砲の複製を命じられた刀鍛冶が銃底と銃筒をつなぐネジ目の切り込み方がわからず頭を抱えていると、刀鍛冶の娘が身をなげうって、ポルトガルへの嫁入りと引き替えにその術を教わったと伝えられている。

「それから450年以上にもわたり、ネジはわれわれの暮らしに欠かせない存在であり続けています。身の回りの半径1メートル以内には必ずネジを使ったものがあるといわれているのです」

ITの早期導入で実現した 業界トップの物流システム

業界トップの理由は他にもある。物流システムの高度IT化だ。奥山社長は言う。「商品アイテムを極限まで拡充する一方、その管理はコンピュータに任せ、人間はもっと創造的な仕事をすべきだと考えました」

その方針に沿って、82年には業界初となるIT制御の立体無人倉庫を建設。日経新聞の「全国先端事業所百選」に選ばれると、89年には売上高の半分近くを投じて東大阪物流センターを完成させ、仕入・受注・ピッキング・検品・梱包の全工程でコンピュータ管理を実現した。そのバックボーンとなっているのが、データベース化され日々増殖する数十万種の商品情報である。「すべての商品がバーコードで厳密に管

そう語るのは、ネジやボルトなどのファスニング商品を専門に扱う商社、サンコーインダストリー（以下、SUNCO）の奥山淑英社長。1日の出荷本数3200万本、取扱商品50万種類、年商200億円の業界トップランナーを率いる若き三代目である。

「精緻な機器から巨大な部材に至るまで、モノとモノを強固に結びつけて取り外しも可能な仕組みとして、ネジほど信頼できるものはありません。その目立たなくても強大な力を秘めたネジの調達・物流を通じて社会を下支えることが、1946年の創業以来変わらない当社の使命です」

在庫拡充と即納体制 逆転の発想で急成長へ

品ぞろえを増やすことは卸業の基本だが、厳密な規格も名称もなく無限ともいえ

理されているので、急なオーダーにも即時に対応可能です。また、お客様にはウェブやカタログでも同じ情報を提供し、「SUNCOと取引をしておけば、生産管理・販売管理も安心」と褒められるようになりました。今後は100万アイテムへの拡充を目指し、さらに利便性を追求していきます」

一方、社内に目を向ければ、全社員が参加するTQC活動があり、品質管理と業務改善にも万全を期する。社員が自発的に結成する委員会は20を数え、ユニフォームを選ぶ「制服委員会」まであるという。職場には「踊る大販売線」などといったユニークな自作のキャンペーンポスターもあちこちに貼られている。経営理念に掲げる「一致団結」の精神と、奥山社長の言う「遊んでいるように仕事をして成果を上げる」の心得を体現する企業風土なのである。



奥山淑英（おくやま・よしひで）

る品種が混在するネジに関するネジに比べてそれは容易なことではない。創業初期、SUNCOはこの弱点を逆手に取り、他社が手を出さない特殊品を取ってリスクを承知で在庫化し、それを求める小口の注文に乗じて一般品をも販売する手法で業績を伸ばす。70年代初頭の石油ショックでは苦境に立つが、だぶついた在庫品にメッキ加工を施して受注を待ち、納期に通常5日は要するメッキ加工品の即納体制を築いて売上を倍増した。

品ぞろえと速さの追求。このワンストップソリューションがSUNCOビジネスの基本モデルであり、今では50万種のネジを取り扱い、即日出荷を「売り」にしている。



サンコーインダストリーのIT拠点、東大阪物流センター。膨大な商品情報データベースをもとに、取り扱う50万種類を瞬時に出荷する体制を築く。倉庫フロアでは出荷頻度別に商品を配列し、コンピュータが割り出した最短経路でピッキングを実施。バーコードによる工程ごとの検品で、出荷精度は限りなく100%に近い。



Member's Eye

「品ぞろえ」は商社の命 先取り志向で広がっています

平塚 幸 仕入第3課



物流センターの在庫管理、メーカーへの発注業務などを担当しています。商品データベースの更新も大事な日課のひとつ。営業からのリクエストや、お客様からの「こんな商品がほしい」といった情報は即座に調べてデータ化します。自分が登録した商品が注文を受け、少しでも売上アップにつながったとき、「よし！」と密かにガッツポーズします。



ITだけに頼らない工夫、 そして笑顔も大切です



林田恭宗
東大阪物流第2課

まだ去年入社したばかりの新人ですが、初めて体験したピッキングと検品では「精度」と「速さ」の大切さを痛感しました。コンピュータの指定に沿って品出しするのですが、先輩たちを見ていると、人間の工夫ひとつでさらに効率が上がるのです。今は商品引き渡しの店頭業務。自分が笑顔でいると、お客様も笑顔で応えてくれるのがうれしいですね。



サンコーインダストリー株式会社

【本社】大阪府大阪市西区立売堀 1-9-28
Tel. 06-6539-3535

【東京支店】東京都墨田区江東橋 2-3-10 5F
Tel. 03-5625-5135

<http://www.sunco.co.jp/>

<https://www.facebook.com/sunco.neji>

SUNCO 検索